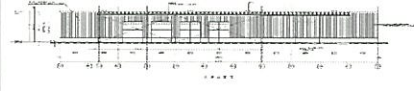


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	㈱東京ロソック小林徳市運送寄居	階数	地上1階
建設地	埼玉県大里郡寄居町大字富田字原	構造	S造
用途地域	用途地域未指定	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,688時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年5月22日
敷地面積	5,555 m ²	作成者	森川明治郎
建築面積	2,744 m ²	確認日	2020年5月22日
延床面積	2,744 m ²	確認者	森川明治郎



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	0	その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・対象外である	・空間及び荷重のゆとりを確保する ・部材の更新性の確保を行う	・緑の条例の基準に適合した植栽を行う
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ法対象外である	・舗装材に再生加熱アスファルト混合物(再生アスコン)を使用する ・部材は再生可能材料を使用する	・燃焼機器は使用しない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 ㈱東京ロジステック小林徳市運送寄居営業所新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境									
1 音環境					-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル					-	-	-	-	-
1.2 遮音					-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能					-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能					-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-	-
1.3 吸音					-	-	3.0	-	-
2 温熱環境					-	-	-	-	-
2.1 室温制御					-	-	-	-	-
1 室温					-	-	-	-	-
2 外皮性能					-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	-
2.2 湿度制御					-	-	-	-	-
2.3 空調方式					-	-	-	-	-
3 光・視環境					-	-	-	-	-
3.1 昼光利用					-	-	-	-	-
1 昼光率					-	-	-	-	-
2 方位別開口					-	-	-	-	-
3 昼光利用設備					-	-	-	-	-
3.2 グレア対策					-	-	-	-	-
1 昼光制御					-	-	-	-	-
3.3 照度					-	-	-	-	-
3.4 照明制御					-	-	-	-	-
4 空気質環境					-	-	-	-	-
4.1 発生源対策					-	-	-	-	-
1 化学汚染物質					-	-	-	-	-
4.2 換気					-	-	-	-	-
1 換気量					-	-	-	-	-
2 自然換気性能					-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮					-	-	-	-	-
4.3 運用管理					-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	-
2 喫煙の制御					-	-	-	-	-
Q2 サービス性能					-	0.43	-	-	3.6
1 機能性					-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ					-	-	-	-	-
1 広さ・収納性					-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応					-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画					-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性					-	-	-	-	-
1 広さ感・景観					-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	-
3 内装計画					-	-	-	-	-
1.3 維持管理					-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計					-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保					-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性					2.7	0.50	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					2.7	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.22	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.22	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.11	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.22	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.22	-	-	-
2.4 信頼性					2.2	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備					1.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備					1.0	0.20	-	-	-
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-	-

3 対応性・更新性			4.6	0.50	-	-	4.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	天井高さは6.0m以上確保している	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 211.24m/2239.95㎡=0.094	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重10,000Nで設計している	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			4.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性	露出配管により更新性を確保している	5.0	0.25	-	-	
3	電気配線の更新性	露出配管及び配線により更新性を確保している	5.0	0.13	-	-	
4	通信配線の更新性	露出配管及び配線により更新性を確保している	5.0	0.13	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.25	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.25	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	-	-	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] =	-	-	-	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.50	-	-	3.4
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装材がないため再生利用が可能である	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.4	0.20	-	-	4.4
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材を用いない	5.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.50	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			2.4	0.50	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	必要台数以上の駐車場を敷地内及び敷地外に確保している	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.50	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート





■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(株)東京ロジステック小林徳市運送寄	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	--------------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.0	=	2.0 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
・燃焼機器の使用は行わない			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
・空間及び耐荷重のゆとりの確保を行う ・設備の更新性の確保を行う ・部材の再生利用剤の使用を行う ・駐車及び駐輪場の確保を敷地内及び隣接敷地にて確保を行う ・その他、緑の条例への適合及び雨水流出抑制施設の設置等			

 :入力欄